

議 事 録

会 議 名	令和6年第4回一宮警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	<p>令和6年11月28日（木） 午後1時00分から午後5時20分までの間</p> <p>-----</p> <p>一宮警察署講堂、愛知県警察機動隊講堂、小隊バス内</p>
出 席 者	<p>1 委員</p> <p style="padding-left: 40px;">星野 博 会長 中須賀 朱美 副会長 鈴木 直之 委員 嵯峨 裕英 委員 鵜飼 保子 委員 衣 飛 委員 榊原 丈晴 委員 西田 りか 委員 今西 智恵子 委員 大重 宏司 委員 スカテッサート キアラ 委員</p> <p style="text-align: right;">以上11名（定数15名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員</p> <p style="padding-left: 40px;">景山署長 粕谷副署長 大木警務課長 長谷川会計課長 渡邊生活安全課長 吉本地域課長 松井刑事課長 芦田交通課長 前田警備課長</p> <p style="text-align: right;">以上9名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等</p> <p style="padding-left: 40px;">なし</p>
諮 問 事 項 等	大規模地震発生時に警察力を発揮するために
答 申 等 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一宮市役所等の関係機関と連携して、訓練を行い、災害対処能力の向上を図って欲しい。 ・ 地域住民の防災意識向上のため、一宮市役所等の関係機関と連携して防災広報を行って欲しい。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会開催に伴い、愛知県警察機動隊に赴き、災害車両や装備資機材、災害対処訓練の展示を見学し、説明を受けるとともに能登半島地震及び豪雨災害に伴う警備派遣の体験談等を聞いた。協議会は、機動隊講堂、一宮警察署講堂で実施した。 ・ 次回開催予定 令和7年2月末頃

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長挨拶
2	署長挨拶
3	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況（生活安全課長説明）
	(2) 管内の交通事故発生状況（交通課長説明）
4	前回の答申に対する具体的施策の推進状況
	(1) 諮問事項
	外国人との多文化共生を目指した取組みの推進
	(2) 答申事項
	ア 外国人コミュニティの把握
	イ 関係機関との連携による情報発信活動の推進
	(3) 推進施策（警務課長説明）
	ア 答申事項アについて
	○ 令和5年、一宮市内に開業した日本語講師養成講座を受講する外国人に対し講話を実施した。
	○ 令和6年10月、一宮市内に開校したネパール人向け日本語学校において講話を実施した。
	イ 答申事項イについて
	○ 愛知県主催の多文化共生フォーラムにおいて防災等教室を開催した。
	○ 一宮市役所観光課との協働による翻訳資料の作成と配布した。
	○ 愛知県警察や行政機関等が作成した様々な言語の資料を「あんぜんなくらしのために」と題してファイルにまとめ、外国人を雇用する企
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
業や日本語学校に寄贈した。	
5 諮問	
(1) 諮問事項	
大規模地震発生時に警察力を発揮するために	
(2) 諮問事項の設定理由（警備課長説明）	
警察は、大規模地震が発生した場合、被害実態を把握し、被害実態に基づき被災者の救出救助活動のほか、緊急交通路の確保や社会秩序の維持等の幅広い活動を行うことになる。大規模地震発生時に警察力を発揮するため、委員の皆様から広く意見をいただきたい。	
6 協議	
委員	・ 先程、機動隊において、実際に起きた災害現場での様々な映像等を見せてもらったが、警察の方へは感謝の気持ちでいっぱいである。非常時に備えて、平素から訓練を重ね、現場で大変な活動をされていることがよくわかった。これからも様々な訓練を積み重ねてください。
	・ お話で「自助、共助、公助の重要性」について学び、自分自身でこれから何ができるのかを真剣に考えるきっかけとなった。
委員	・ 能登半島地震の活動体験談を聞き、地元住民の情報が警察活動において非常に役に立ったことを知った。今、私の住む町では、子供会、婦人会、町内会も無くなりつつある。ご近所でのお付き合いや声掛け「おはよう。お帰り。」の一言でも良いからつながっていくことが大切だと思った。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
委員	・ 機動隊の講堂に殉職された警察官の写真が飾ってあった。命の尊 さを、自らの命も含めて今、強く感じた。
委員	・ 日本へ来たばかりで日本語が話せない外国人に対して、どこへ避 難すればよいか、身を守るために、まず何をしたらいいかの広報を お願いします。
委員	・ 地震が発生した後の避難所に、警察官が立ち寄り、姿を見せてく れるだけでも、とても安心感があります。是非、お願いしたい。
委員	・ 巡回連絡等により高齢者だけの世帯の情報等を普段から収集して ほしい。 災害時における自衛隊や自治体、警察の役割を先ほど学び、一宮 市役所等の自治体と警察が連携し、合同で災害に対する訓練をより 強化することが大切だと思った。 ドローン等を活用した現場での速やかな情報収集が大切だと思う。 さらに訓練を重ね、有効な資機材の確保に努めてほしい。
委員	・ 災害に特化した訓練を充実してほしい。正確な情報を速やかに収 集すること、情報を速やかに発信していくことが重要であると思う。 警察車両のハイブリット化も是非検討してみてはどうか。
委員	・ 災害は、発災後よりも避難所生活の方がはるかに長くなることが 多いと思う。継続的な情報収集と治安維持活動をお願いしたい。
委員	・ 災害弱者となりうる高齢者、子供、障がいのある方、そして外国 の方を一人にしないことが大切だと思う。巡回連絡等の個別訪問に よる情報収集、広報活動もお願いしたい。
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨

委員 ・ 警察が救助活動に専念できるよう、付近住民が皆で助け合うことが大切だと思う。

能登に住む知り合いが、震災時、現地にブルーシートが置いてあったので使ったら、高額なお金を請求されたと聞いた。このような悪質行為に対して、警察の方の活動も災害現場では重要だと思う。

委員 ・ 近隣の者同士が挨拶だけでもいいので、ふだんからしておくことが大切だと思う。

委員 ・ 災害発生時には、警察による正しい情報の発信、例えばラジオやテレビを活用することが重要だと思う。また、普段から防災に関する広報活動についてメディアを活用してほしい。

7 答申

(1) 一宮市役所等の関係機関と連携して、訓練を行い、災害対処能力の向上を図ってほしい。

(2) 地域住民の防災意識向上のため、一宮市役所等の関係機関と連携して防災広報を行ってほしい。

8 その他

次回の開催予定は、令和7年2月末頃とする。

記録者

警 務 係 長